

令和元年度マリンオープンイノベーション実現のための  
調査分析業務委託要領

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構を甲とし、\_\_\_\_\_を乙として締結した、令和元年度マリンオープンイノベーション実現のための調査分析業務委託契約については、当該契約書に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

なお、委託業務の内容に変更があったときは、両者別途協議の上、決定する。

第1 業務の目的

マリンバイオテクノロジーをはじめとする先進技術の社会実装に取り組むマリンオープンイノベーションプロジェクトの推進に資するため、国内外におけるオープンイノベーション事例を調査分析し、成功要因の抽出を行う。また、駿河湾の特徴の棚卸と評価及びこれらの恩恵を受けうる産業領域の特定・整理を行い、甲が取り組む事業の戦略立案の基礎資料とする。

第2 業務の内容

<p>(1) オープンイノベーション 先行事例調査</p>	<p>海外資源活用分野における国内外のオープンイノベーション先行事例の調査分析により成功要因を抽出する。</p> <p>① 調査方法：インターネット・文献調査及びヒアリング調査 ② 調査対象：CONNECT、BIOCOM（米国） （一財）函館国際水産・海洋都市推進機構 ③ 調査内容：組織概要、ハードスペック整備・運用状況、ソフトスペック整備・運用状況等 ④ アウトプット：調査対象施設から抽出した機能要件のとりまとめ及び成功要因の抽出</p>
<p>(2) 駿河湾の特徴 の棚卸</p>	<p>駿河湾が有する有形・無形の資源を整理し、他エリアと比較した希少性及び優位性を客観的に評価し、当該エリア独自の価値を可視化する。</p> <p>① 調査方法：インターネット・文献調査及びヒアリング調査 ② 調査対象：県内行政機関、研究機関 ③ 調査内容：駿河湾の特徴（地形、生物、水域、産業・行政） ④ アウトプット：駿河湾の希少性・優位性評価シート（棚卸・評価表）</p>
<p>(3) 海洋産業の産業化チェーン の整理</p>	<p>海洋産業に属する様々な事業領域ごとに、基礎研究から産業化に至るまでの道筋である「産業化チェーン表」を整理・策定するとともに、上記(2)を踏まえ、各産業・各フェーズ別に駿河湾が提供できる「価値」をとりまとめる。</p> <p>① 調査方法：インターネット・文献調査、ヒアリング調査 ② 調査対象：食品、水産、化学、医薬。その他の産業分野については、発注者との協議による。 ③ 調査内容：産業分野ごとのフェーズ別の課題の整理と各課題に対し駿河湾が提供できる価値の整理、それらを踏まえたプロジェクトへの参画が期待できる企業・団体の抽出 ④ アウトプット：産業化チェーン表及び「駿河湾が提供できる価値の整理表」ならびにプロジェクト参画候補企業・団体一覧</p>

第3 成果品

上記(1)～(3)の各アウトプット（紙媒体1部及び電子媒体で提出）

第4 その他

この要領に定めのない事項については、甲と乙との協議により決定する。

## 第5 様式

委託業務に関する契約書記載の様式及びその提出部数は、次のとおりとする。

契約書第3条第2項の前金払請求書（様式第1-1号）	1部
契約書第3条第2項の収支計画書（様式第1-2号）	1部
契約書第8条の委託業務実施（変更）計画書（様式第2号）	1部
契約書第10条の委託業務実績報告書（様式3号）	1部

様式第1-1号

(前金払)請求書

年 月 日

一般財団法人  
マリンオープンイノベーション機構  
理事長 松永 是 様

所在地  
名 称

代表者 氏 名 印

記

金

円

令和元年度マリンオープンイノベーション実現のための調査分析業務委託契約書第3条第2項の規定により、上記のとおり請求します。(詳細は様式第1-2号のとおり)

口座振替先金融機関名  
口座種別 No.

(様式第2号)

委託業務実施（変更）計画書

年 月 日

一般財団法人  
マリンオープンイノベーション機構  
理事長 松永 是 様

所在地  
名 称  
代表者

印

1 業務全体の管理運営体制（組織、人員配置、連絡体制、責任体制等）

2 業務実施の計画

区 分	業 務 内 容	備 考

(様式第3号)

委託業務実績報告書

年 月 日

一般財団法人  
マリンオープンイノベーション機構  
理事長 松永 是 様

所在地  
名 称  
代表者

⑩

業務の実績

区分	業 務 内 容

業務完了年月日

年 月 日